

2008年8月号

ほくし

発行所

社団法人大阪北区歯科医師会

大阪市北区南森町1丁目4番28号
プールバール南森町205号室

TEL(06)6363-0016 FAX(06)6363-0046

平成二十年度
第一回総会(通常)

H20.5.30

五月三〇日(金)、午後六時三〇分より梅田玉姫殿に於いて社団法人大阪北区歯科医師会平成二〇年度第一回総会(通常)が開催された。多田議長より開会宣言がなされた後、賀本庶務理事より点呼が行われ、現会員数一九九名、定足数一〇〇名、出席者四三名、書面表決者七〇名、委任状提出者一〇名、合計一二三名で会の成立が報告された。



中谷副会長の開会のことばの後、議事録署名名に一五班の戎文彦先生、樋口春彦先生が指名された。続いて黒川会長が挨拶に立ち、大阪府地域医療推進協議会(福社医療施策の後退に反対す

る署名運動)への協力を会員に呼びかけた。引き続き大阪府歯科医師会の天羽理事より来賓挨拶を頂いた。報告事項として大塚専務理事より平成九年度会務報告がなされ、その後、物故者及び物故者家族への弔慰黙祷が行われた。野口常務理事より平成九年度福祉共済制度会務報告がなされた。

議事に移り、大浦常務理事、野口常務理事より第一

医療保険講習会

H20.5.30

五月三〇日(金)、梅田玉姫殿にて医療保険講習会が行われ、三六名が参加されました。今回も講師に府歯医療保険担当常務理事の近森先生をお招きし、解説して頂きました。

冒頭に黒川会長より「改定後、初めての講習会。日が浅く、まだ混乱することもあり、各会員ができるだけ効率的に請求ができるように今日の話を聞きたい。」との挨拶がありました。講義内容としてはまず、全体の改定率〇・四二%のうち

号議案平成一九年度一般会計収支決算と第二号議案平成一九年度特別会計収支決算が一括上程され、横野監事による会計監査報告がなされた後、各議案とも満場一致で原案どおり可決承認された。

最後に東郷副会長より閉会のことばの後、多田議長の閉会宣言により閉会となった。

続いて大阪府歯科医師会保組合北区北支部総会が清光支部長より、大阪府歯科医師連盟総会が戎支部長、水沼連盟常務理事より行われた。

初・再診料改定の影響率が約〇・三三〜〇・三八%と、その大半を占めることを述べられました。続いて多岐に渡る項目について解説され、最後に療養担当規則および新設された施設基準について再確認し、講習会を締め括られました。

閉会にあたり、高麗副会長が「本日は熱のこもった講習とともに素晴らしい資料もあるので大いに活用しよう。」と述べ、充実した講習会を終えました。(医療保険部 中谷徹記)

よい歯の
コンクール

H20.5.8

五月八日(木) 大阪市区保健福祉センターにて午後二時三〇分より「第五七回全国よい歯のコンクール」地区審査会が行われた。今回は北区北地区からは三組の対象者を予定していたが当日一組が不参加となり二組のみの選考会となった。



その結果、北区北の代表として水沼親子が選ばれ大阪府の大会に出場されることが決まった。

出務した感想としては年々参加者が減少しているのが気がかりである。尚、今回審査を受けた二組には支部より記念品が授与された。(地域医療部 木下秀人記)

パノラマ

グッドウィルの二重派遣問題による派遣事業からの撤退や、うなぎの産地偽装問題など企業のコンプライアンスの問題がクローズアップされる機会が増えております。元来、コンプライアンスは、法令遵守義務という限られた意味でありましたが、不祥事の多くが法令という枠組みを超えて、人間としてなすべき倫理問題に基づくものが目立つようになったことから、社内規則の遵守、さらには倫理観をもった行為等に至る広い意味に使用されるようになってきました。

最近、巷では企業不祥事が発覚すると、信用が失墜し破綻に至る船場吉兆のような事例が生ずるようになっており、「企業のリスク管理」の観点からもコンプライアンスの遵守により人、お金、時間を投資しなくてはならなくなり、その結果「コンプライアンス貧乏」とささやかれるようになっております。われわれ歯科界においても、診療報酬のダウン、人件費の高騰、歯科医院の増加などの厳しい医院経営の中、このような新たな課題をクリアしていかなければならなくなっております。(I)

説論

歯科医療の標準化問題

副会長 高麗 誠紀

厚生労働省は、「何が何でもやる」というレセプトオンライン請求完全義務化が実施される平成二三年四月を想定して、昨年十二月六日に医政局長の呼びかけにより「歯科診療所における歯科保健医療の標準化のあり方等に関する検討会」を開催した。出席者および検討事項については既に大阪府歯科医師雑誌四月号に掲載され、会員の方々のご認識は得られているものと思われる。

標準化指針が診療ガイドラインに結びつくか否かはここで論じることが避けるが、今後ガイドラインに則ってレセプト審査が行われ、ガイドラインから外れると保険請求内容の査定につながってしまう危惧を感じるのである。

日々臨床に直面している我々は、様々な個々のケース全てにおいて適切な歯科医療を提供することが患者に対する義務であることを考える時に、レセプトオンライン化によって歯科医療が標準化され、画一的な治療のみが許され、その結果患者の適切な歯科医療を受ける権利までが奪われようとしている懸念を抱くのは私だけであらうか。

菅北小学校

「歯科保健講習」

H20 6.18

六月一八日(水)、午後一時三〇分より大阪市立菅北小学校(樋口忠彦学校歯科医)に於いて、六年生約五〇人を対象に歯科保健講習が行われました。最初の校長の挨拶に続いて、樋口校医の講話、そしてヒグチ歯科医院のスタッフたちが、「唾液の力」をテーマに、いろいろな媒体を駆使して講義を行いました。

内容は唾液には洗浄作用、殺菌抗菌作用、再石灰化作用、緩衝作用の四つの大きな働きがあるというものです。特に緩衝作用は小学生にはまだ理解が難しいので



はと思われましたが、オリジナルの絵や図をふんだんに使い、できる限りわかりやすく説明していました。後半は全員でそれぞれ自分の唾液を採取し、試薬を用いて緩衝能を測定するという実験を行いました。まとめの部分では「緩衝作用とは？」の問いかけにも、皆が手を挙げて「口の中を酸性から中性に戻す働き」と元気よく答えたのには驚かされました。児童たちの感想で多かったのは「唾液ってすごい!」ということでした。(樋口春彦記)



北歯ゴルフ同好会春季コンペ

H20 5.11

五月十一日(日)北歯ゴルフ同好会の春のコンペが行われました。田中康隆先生のお世話で、アートルレイクGCにおいて、前日の雨はあがつたものの曇りで少し肌寒い中でのプレーとなりました。二七名のゴルフ好きが集合し、INコースよりスタートしました。その中で、メンバーの田中康隆先生が見事に優勝(ネット69)、準優勝には初参加

の大坂回生病院院長の菊池先生、三位は北区大淀支部の松井先生という結果となりました。次回は、十二月二四日(月・振替休日)に矢追先生のお世話で、西宮高原GCで開催する予定です。多数の先生方のご参加をお待ちしております。

(大塚俊裕記)

※紙面の都合上、成績表は割愛させていただきました。



新入会員

5班・山田 龍男
(大歯大・平成14年卒)



(診) 造幣局診療所

北区天満 一〇七九
電 六三五一五三六六
F 六三五一五八九六

15班・妹尾 日登美

(徳島大・平成5年卒)



(診) 行岡病院歯科口腔外科

北区浮田 一二二三
電 六三七一九九二一
F 六三七一一四一九九

編集後記

暑い日々が続きますが先生方がお過ごしでしょうか、くれぐれもお体に気を付けてお過ごしくださいませ。

(広報部一同)